



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第2号(2008年3月17日)



衝撃的な人工島開発プロジェクト

ナキール社(世界で最も大きな不動産開発会社の1社)は、先日、新しいプロジェクトを発表しました。その名も『ザ・ユニヴァース』。太陽系の不思議からインスピレーションを得て考えられた、太陽、月と惑星の形をした人工島開発だそうです。『ザ・ユニヴァース』はドバイの海岸線の沖に、ザ・ワールド(世界地図をかたどった人工リゾート島)の周りを囲うように作られます。『ザ・ユニヴァース』は、ナキール社のウォーターフロント開発の象徴で、ザ・ワールド、パーム・アイランド三部作と並ぶシンボルとなります。これにより新しい贅沢な居住空間、商業機会、そしてさらなる海岸線をつくり、世界的なビジネスと観光地としてのドバイの継続した経済成長を成功に導くとのことです。

『ザ・ユニヴァース』は現在初期のコンセプトの検討段階であり、既に技術面、環境面で実現可能性の検討がされています。検討が済み次第、完全な計画を発表する予定です。ヤシの木、世界地図ときていよいよ宇宙まで行き着いてしまいましたが、次はどこへ向かうのでしょうか、興味は尽きません。
(無きにしもアラブ)

『ザ・ユニヴァース』 ザ・ワールド



出所: ナキール社



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



日本の高級車は中東でも人気



日本円が、UAEの通貨ディルハム(1ディルハム＝約28円、2008年3月6日現在)に対して高くなっています。日本円が高くなると、UAE国内での日本製品の値段も高くなっていくわけですが、中東で人気のあるトヨタの高級車ブランド「レクサス」の値段も高くなっているそうです。値段が上がってしまっているということは、当然、売れ行きが悪くなることが想像されますが、現地のレクサスのディーラーによれば、販売台数は昨年も順調に伸び、対前年比68%の増収となったそうです。特にレクサスの中でも最高級車であるLSモデル(セダン)が投入されたことが大きかったようです。先日、レクサスのSUV(Sport Utility Vehicle、スポーツ多目的車)であるLXモデルの新車の投入が発表されましたが、その際、現地ディーラーのセールスマネージャーは、「湾岸諸国の中でも特にUAEでは高級SUVの人気があり、販売拡大に弾みをつけるだろう」と自信を見せていたようです。日本と遠く離れた湾岸諸国ですが、日本企業にとって、とても大事な商売相手になっているのですね。

(グッドバイ)

サウジアラビアの鉄道プロジェクト



サウジアラビアの鉄道開発計画のうち、リヤド経由でジェッダとダンマンを結ぶ国家戦略的な路線が6月までに完成するそうです。50億ドル規模のプロジェクトであるジェッダ-ダンマン間の『ランドブリッジ』計画は、土地の所有権などの問題と財政問題によって完成が遅れていました。ジェッダイラム港からペルシャ湾岸までの945kmの鉄道とダンマン港からジョアル工業団地への115kmの鉄道は、今まで船便で4～5日かけてアラビア半島をまわっていた荷物を、18時間で運ぶことを可能にします。この鉄道には400のコンテナを牽引し、120kmで走行することが可能なディーゼル機関車が走行する予定です。これにより、アルミや燐などの大量輸送が可能になり工業化が進展することが期待されています。これ以外にも、ジェッダからメッカまで30分、そしてマディナへ2時間で巡礼者を運ぶ高速鉄道の建設も決まっています。さらにターイフとカミスムシャイトを結ぶ路線と、ジェッダとジザーンを結ぶ路線も計画しています。

(無きにしもアラブ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



UAEが原油価格高騰に悩んでいる？



日本などの非産油国では、原油価格高騰が大きな問題になっていますが、産油国であるUAEが原油価格高騰に悩んでいる、と聞いたら驚く人がほとんどではないでしょうか。UAEでは大規模建設プロジェクトが急ピッチで進んでいるというのはご存知の通りですが、実は今、その建設に必須のセメントが不足しているようなのです。現地のあるセメント製造会社の話では、ここ数週間でセメントの製造が、工場の製造能力の40%にまで落ち込んでしまったとのこと。その原因が、セメント製造に必要な原油価格が高騰しているから、ということなのです。そこで現地の建設会社も大規模プロジェクトの進行に遅れが出てしまうことにすごく悩んでいるようなのです。原油価格の高騰が、産油国であるUAEでも問題になっている、というのは嘘みたいな本当の話で、すごく意外な感じがしますよね。

(無きにしもアラブ)

メルリッチがフロンティア・インデックスを算出開始



メルリッチが新しいフロンティア・インデックスを開発しました。メルリッチ・フロンティア・インデックスは、ヨーロッパ、中東、アフリカ、そしてアジアのフロンティア市場の50銘柄から構成されています。構成国はアラブ首長国連邦(UAE)、クウェート、ナイジェリア、モロッコ、パキスタン、カザフスタン、ベトナムなどを含む17カ国で、インデックスの構成銘柄は時価総額5億ドル以上、3ヵ月間の一日平均出来高が750,000ドル以上、外国人の所有制限が15%以上といった条件があります。フロンティア市場は、2000年1月からの2007年12月までのパフォーマンスは年率20%と、先進国の1%、エマージング諸国の12%を上回っています。そして2000年2月から2007年12月までの期間ではS&P 500に対する月次の相関係数が、先進国の96%、エマージング市場の73%に対して、32%と低くなっています。インデックスの構成は50.0%が中東の株式で構成され、アジア22.6%、ヨーロッパ14.1%、アフリカが13.3%です。国別の組入れ上位3カ国は、UAE(23.1%)、クウェート(18.1%)、パキスタン(13.6%)です。業種は銀行(39.4%)、金融サービス(25.7%)、石油・ガス(13.6%)となっています。MSCIでもフロンティア・インデックスの算出を始めており、指数連動の運用を行なう投資家の注目度が高まっています。

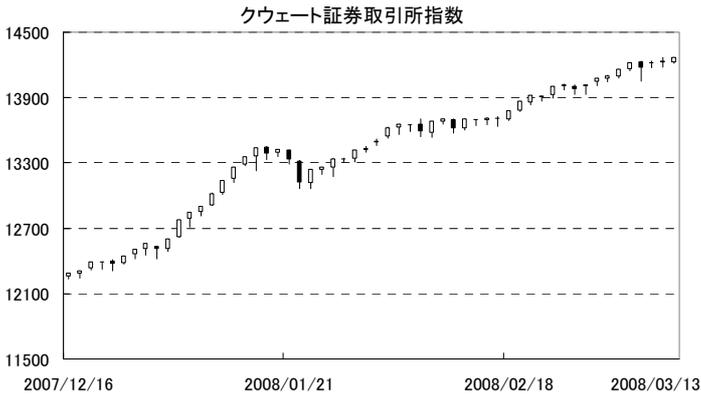
(無きにしもアラブ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近3ヶ月)



出所：ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。